

明るいやまがた夏の安全県民運動

夏は長期休暇、レジャー、暑さによる気のゆるみや疲労などから交通事故や水の事故等が多くなり、また、青少年の非行や身近な犯罪等も多くなる傾向にあります。

この時期にあたり、これらの事故を防止するとともに、青少年の健全な育成を図るため、県民総ぐるみの運動を推進し、「安全で明るいやまがた」を創ることを目的とします。

1 実施期間 7月21日(火)～8月20日(木)

2 重点項目

- 青少年の健全育成といじめ・非行防止
《みんなで育む人間性・社会性豊かな青少年》
- 海・山・川での事故防止 《安全で楽しい夏休み》
- 身近な犯罪等の防止 《みんなでつくろう安全・安心の街》
- 子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
《人も車も自転車も、しっかり止まって、はっきり確認》

3 推進事項

- 家庭・学校では 子どもの小さな変化に気を配り、いじめ非行の早期発見・予防に努めよう
- 地域では、飲酒運転は、絶対に「しない、させない、許さない」を徹底しよう

道路交通法が改正され、自転車で酒酔い運転、信号無視、指定場所一時不停止等の危険行為を繰り返すと、自転車運転者講習の受講義務が課せられます。自転車の交通ルールを遵守して安全運転に心がけましょう。



【明るいやまがた夏の安全県民運動最上地区出発式 7/21】

STOP! ネット犯罪

平成25年中に出会い系サイト・コミュニティサイトを利用して、犯罪の被害にあった子どもは全国で1,452人。

被害にあった子どもの多くは、サイトの危険性について保護者から注意を受けていませんでした。（警察庁資料より）

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動 重点期間：7・8・11月

「子どもは社会を映す鏡」と言われるように、青少年の問題は、大人社会の問題を反映しているものであり、子どもたちは身近な人々や地域社会の様々な環境から強く影響を受けて育っています。

県では、本年度も「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の実践に努めています。

「大人が変われば 子どもも変わる」県民運動3つの柱

1 あいさつ・見守り運動

～子どもを家庭・地域で育てよう～

- ①オアシス運動（おはよう、ありがとう、しつれいします、すみません）
- ②コミュニケーションを深める（あいさつ・会話をする、地域行事に参加等）
- ③見守る（表情や態度に気を配る、認める、ほめる、ときに励ます、注意指導する等）

2 モラル・マナーの向上運動

～大人が子どもの手本となろう～

- ①ゴミ・空き缶・吸殻を捨てない、拾う、持ち帰る
- ②交通ルール・マナーを守る（歩行者に優しい運転、自転車の乗り方、信号等の指示に従う等）
- ③公共の場のマナーを守る（高齢者・障がい者等の保護、携帯電話マナー、身だしなみ等）



【最上広域青少年指導センター共催街頭指導】

3 子どもを事故や犯罪から守る運動

～子どもの安全を地域全体で見守ろう～

- ①危険箇所や少年のたまり場等を点検し、安心・安全な環境に改善する
- ②未成年者への飲酒・喫煙の防止を働きかける
- ③SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の安易な利用に注意し、メディア活用のルールの周知を図る
- ④万引きを「しない・させない・見逃さない」環境づくりを推進する

青少年もがみ

第22号 平成27年8月1日

—発行—

最上地区青少年育成連絡協議会

「県民大会」開催を契機に、青少年育成活動の更なる充実と広がり

最上地区青少年育成連絡協議会会長 矢口 信一



第49回山形県青少年健全育成県民大会が、明るい未来を担う青少年を育成することをねらいに、10月24日（土）に新庄市民プラザを会場に開催されます。村山・庄内・置賜・最上の4地区のローテーションで、毎年開催され、今年度は、最上が当番になります。過日、大会実行委員会を設立し、着々と準備を進めているところです。昨年から取り入れられた「高校生サミット」では、最上らしさが出るように、そして全体を通して参加者の心に残るような大会を目指しております。最上地区は、

「新庄まつり」に見られるように、市内と郡部が調和を保ちつつ、自然と一体となった生活文化を継承し、豊かな人間性を培ってきました。最上地区の高校においても、昨年度から今年度にかけて、新庄北高校、新庄南高校、新庄神室産業高校それぞれに「キャンパス制」がスタートし、最上校、金山校、真室川校では、生徒会活動や部活動、学校祭、被災地支援ボランティア活動等でお互いに交流を行っているそうです。最上校では、老人世帯の除雪活動等、生徒会活動やボランティア活動が盛んに行われているとともに、町の協力を得て、介護員を目指した研修が取り入れられ、卒業後は介護の知識やスキルを活かして地域で活躍しているそうです。今回の県民大会で、是非こうした話題も紹介できればと考えております。

5月の当協議会総会の折に、各出席者から地域活動の報告がありました。最上地区全体での地域教育活動団体の充実した内容と組織の連携の素晴らしさを改めて確認しました。今秋の「青少年健全育成県民大会」最上開催を契機に、各地域の青少年育成活動が、充実し、そして更なる広がりを見せて、地域の教育力として、子ども達の成長に大きな力になることを信じています。

平成27年度最上地区青少年育成連絡協議会の活動紹介

最上地区青少年育成連絡協議会：最上地区の子ども・若者を健全に育成することを目的に、各青少年育成市町村民会議、青少年育成推進員、学校、PTA、行政が連携し、活動を展開している組織です。

1. 役員

- ◇会長：矢口 信一（戸沢）
- ◇副会長：大山 孝一（新庄）、笹原 祐一（金山）
橋本 正（最上）、矢口 智（大蔵）
- ◇監事：小松 功（真室川）、熊沢 健（大蔵）

2. 27年度 主な事業

①県民運動の推進

- ・“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動
- ・「大人が変われば子どもも変わる」県民運動
- ・「明るいやまがた」夏の安全県民運動

②有害環境浄化活動

- ・書店及び自動販売機の有害図書立ち入り調査
- ・街頭巡視活動

③広報、啓発活動

- ・情報誌「青少年もがみ」22号、23号発行
- ・青少年育成推進員機関紙「たづな」40号発行
- ・広報車による街頭広報
- ・“いじめ、非行をなくそう”の標語募集



【最上地区青少年育成連絡協議会総会 5/21】

④研修、会議等

- ・平成27年度「青少年健全育成県民大会」
10月24日（土）新庄市民プラザ13:00～
- ・最上地区青少年育成懇談会
12月 5日（土）新庄市民プラザ（午前中）
- ・最上地区青少年育成推進員研修会
10月24日（土）ニューグランドホテル
「県民大会」終了後（17:00～）